

石狩市第4期障がい者計画策定のための アンケート調査結果報告書 【18歳未満】

目次

1 調査の概要	
(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法・実施期間	1
(3) 調査の対象・配布数	1
2 お子さんの状況について	
(1) 生年月日.....	2
(2) 日中活動の場について.....	3
3 各分野についてのご意見	
(1) 安全・安心について	4
(2) 生活支援について	6
(3) 社会参加について	10
(4) 理解の促進・差別の解消について	12
(5) 相談・情報の入手について	15
(6) 障がい者施策全般について.....	18

令和2年 11 月

石狩市

1 調査の概要

(1) 調査の目的

このアンケート調査は、石狩市の障がい者施策の基本的な計画である「石狩市第4期障がい者計画」を策定するにあたり、障害者手帳をお持ちの皆さまの実情やニーズを把握し、新しい計画に反映させることを目的に実施しました。

(2) 調査方法・実施期間

- 配布方法 … 郵送
- 回収方法 … 郵送、Web
- 実施期間 … 令和2年8月20日～9月10日

(3) 調査の対象・配布数

	18歳未満		
調査対象者	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持する者の保護者		
配布数	228人 ※うち重複所持者20人		
	身体	療育	精神
	49人	196人	3人
回収数	80人		
回収率	35.0%		

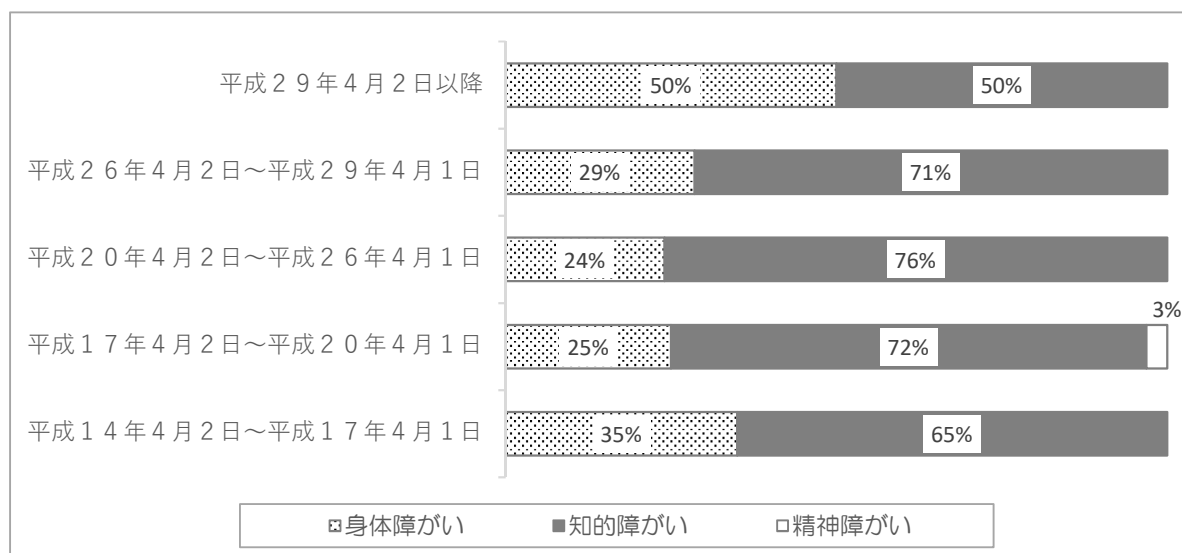
2 お子さんの状況について

お子さんの生年月日を教えてください

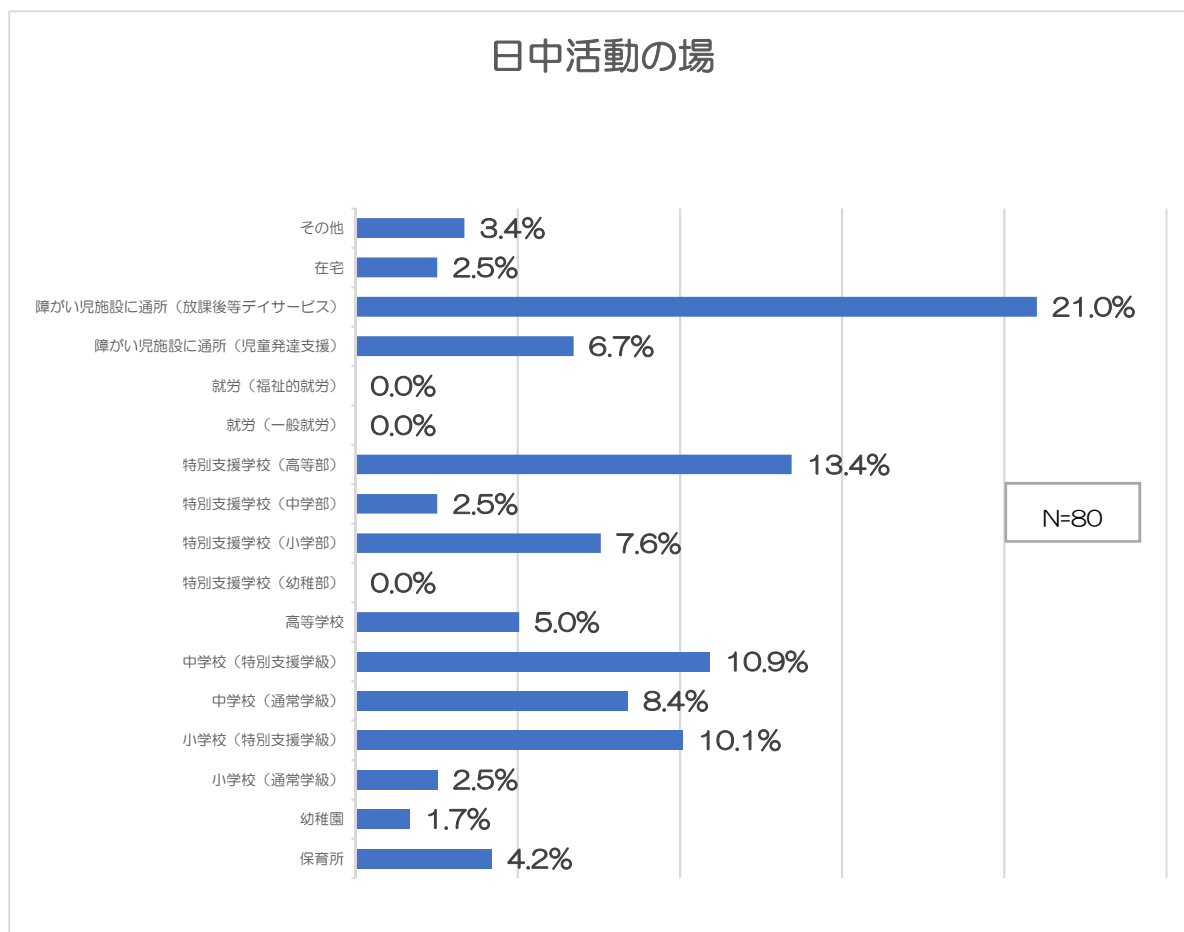
年代分布の割合としては、「平成17年4月2日～平成20年4月1日」が35.0%と最も多く、その次が「平成20年4月2日～平成26年4月1日」の27.5%だった。

平成14年4月2日～平成17年4月1日	平成17年4月2日～平成20年4月1日	平成20年4月2日～平成26年4月1日	平成26年4月2日～平成29年4月1日	平成29年4月2日以降
23.8%	35.0%	27.5%	8.8%	5.0%

	平成14年4月2日～平成17年4月1日	平成17年4月2日～平成20年4月1日	平成20年4月2日～平成26年4月1日	平成26年4月2日～平成29年4月1日	平成29年4月2日以降	計
身体障がい	7	8	6	2	2	25
知的障がい	13	23	19	5	2	62
精神障がい	0	1	0	0	0	1
計	20	32	25	7	4	88



お子さんの日中活動の場はどこですか？(複数回答)



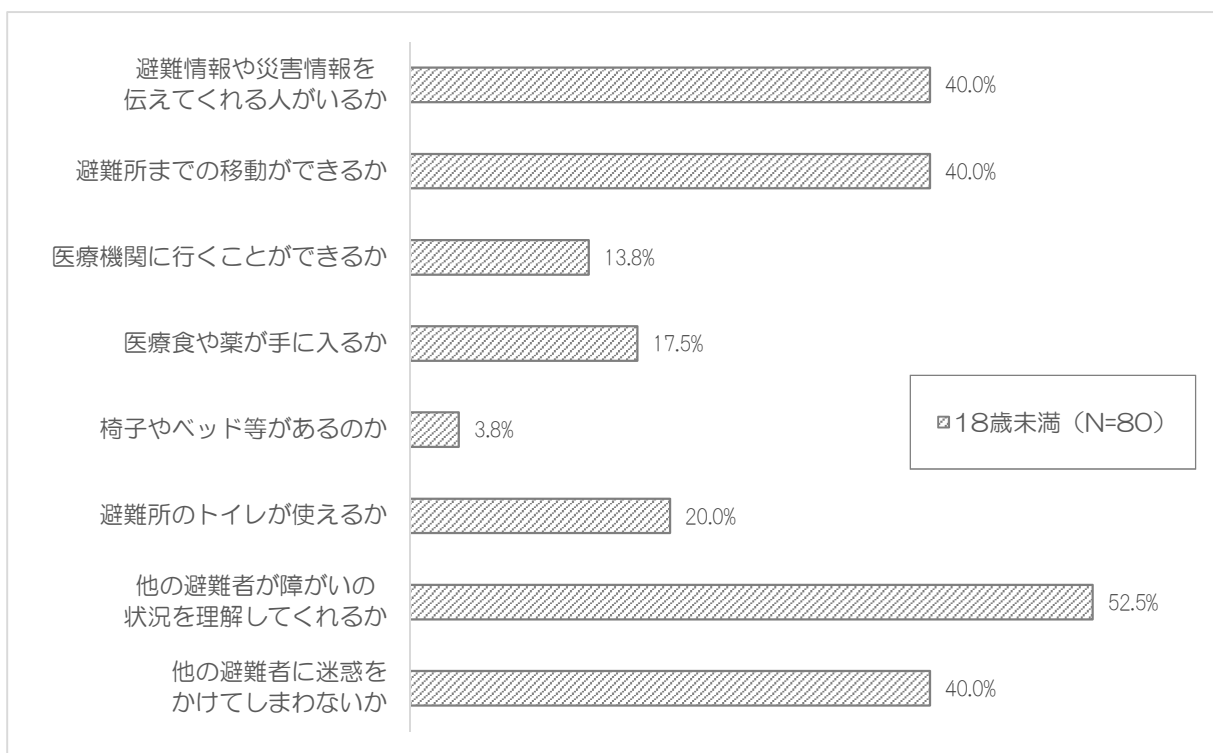
- 日中活動の場としては、「障がい児施設に通所(放課後等デイサービス)」の割合が21.0%と高くなっている。

3 各分野についてのご意見

(1) 安全・安心について

地震や台風などの自然災害が発生した時や避難所での生活で不安に思うことは何ですか？(複数回答)

※上位のみ掲載



- 「避難所まで移動できるか」を不安に感じている割合が高く、特に身体障がいのある人が多くなっている。
- 避難所での状況を見ると、「他の避難者が障害の状況を理解してくれるか」、「他の避難者に迷惑を掛けてしまわないか」といった、他者への配慮に関する割合が高くなっている。

【その他のご意見】

- 普段とは異なった環境である避難所でのストレスケアを心配している

手帳別(複数回答) ※11項目のみ掲載	身体	療育	精神
避難情報や災害情報を伝えてくれる人がいるか	14%	16%	33%
避難所までの移動ができるか	17%	16%	33%
医療機関に行くことができるか	6%	5%	0%
医療機器の充電や管理ができるか	2%	1%	0%
医療食や薬が手に入るか	12%	6%	0%
椅子やベッド等があるのか	3%	1%	0%
避難所のトイレが使えるか	9%	7%	0%
介助者や介護者はいるか	3%	3%	0%
手話通訳や要約筆記がなければ情報がわからない	3%	0%	0%
他の避難者が障がいの状況を理解してくれるか	15%	22%	33%
他の避難者に迷惑をかけてしまわないか	6%	18%	0%

- 身体障害者手帳所持者では、「避難所までの移動ができるか」「他の避難者が障がいの状況を理解してくれるか」の順に回答した割合が高くなっている。
- 療育手帳所持者では、「他の避難者が障がいの状況を理解してくれるか」「他の避難者に迷惑をかけてしまわないか」の順に回答した割合が高くなっている。

平成30年9月6日の「北海道胆振東部地震」の際、大規模停電(ブラックアウト)が発生しましたが、障がいがあることが理由で困った経験がありましたか？

【主な回答】

- ブラックアウトにより普段とは異なる環境になったことへの不安やストレスがあった
- 偏食があるため食べられる物が手に入らず困った
- 医療機関や薬局が閉鎖したことにより、薬の調達が困難になった
- 学校の休校や障害福祉サービスが利用できないことで不安になった
- 停電により視覚情報が少なく状況を理解するのが困難だった
- 人工内耳の充電ができず不安だった
- (保護者が)買い出しなどで家を空ける際に留守番させるのが不安だった
- テレビを見ることやゲームができないことでパニックになり感情が不安定になった

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、障がいがあることが理由で困った経験がありますか？

【主な回答】

- 臨時休校で長期休みになったことで、学校に行けなくなってしまった
- 家族、特に母親が入院したり子どもだけ入院することになったら困ってしまう
- 新しいルールや細かい変化に弱く、感染予防のマナーを守るのが難しい
- マスクの着用を嫌がる
- 臨時休校や放課後等デイサービスの長期休業で日中過ごす場所がなく、親は見守りのため仕事ができず、互いにストレスが大きかった
- 新型コロナウイルスについて理解できないため、苦しい時(外などで)マスクをはずして空気を吸うなどを自分でできない→マスクを着けるよう言っているので、ずっと着け続ける
- マスク着用を守るあまり、給食の時にマスクをはずせず、学校再開から夏休みまで教室で給食を食べられず、ほとんど毎日早退している
- マスクを着けていると口話ができず、外出先での会話が困難でした
- 新型コロナウイルスにとっても敏感になり、学校が再開しても「感染したら死ぬ」としばらく登校できなくなった
- 手洗いをしても、その後すぐいろいろな物をさわって指を口に入れてしまう

(2) 生活支援について

あなたやお子さんが利用している障害福祉サービスは何ですか？(複数回答)

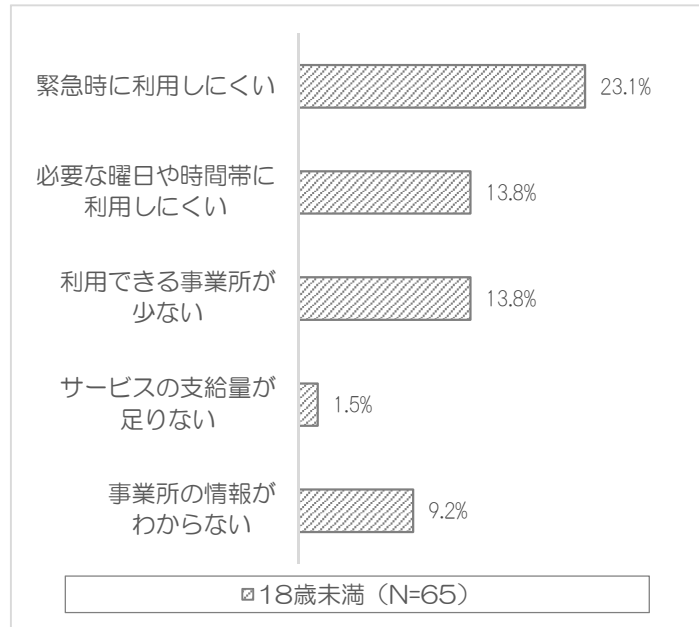
※上位のみ掲載

18歳未満	
放課後等デイサービス	55.0%
相談支援・計画相談	23.8%
利用したことがない	18.8%
補装具の給付	15.0%
日常生活用具の給付	11.3%

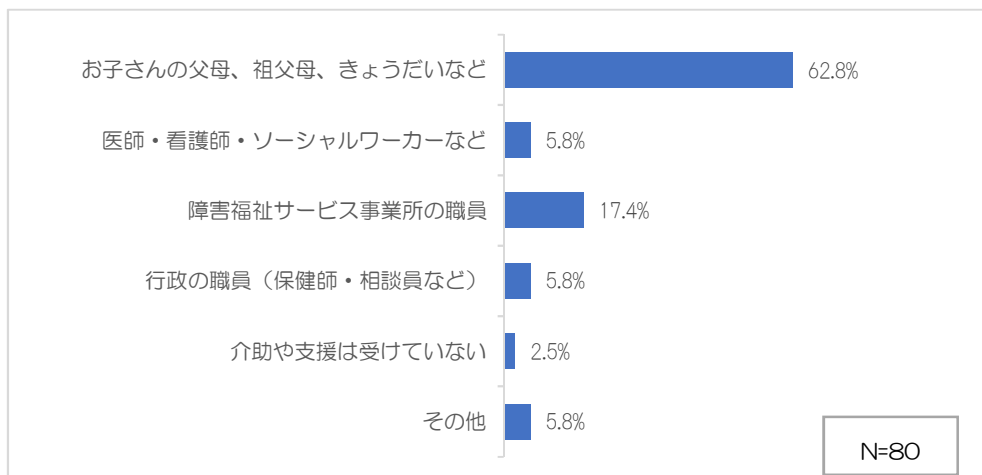
- 「放課後等デイサービス」を利用している児童が 55.0%と高い割合になっている。
- また、サービスを利用している児童のおよそ3割が「相談支援・計画相談」を利用していると回答した。

■サービスを受けるときに困っていること

- 障害福祉サービスを利用したことがある人のうち半数が「困りごとはない」と回答している。
- 困りごとのある人のうち、緊急時や必要な時に利用しにくいと回答した割合が高くなっています。
- その他の回答では、サービスの質が悪い、療育をしっかりとしてくれないという意見もありました。



お子さんを介助、支援をしている人はどなたですか？(複数回答)

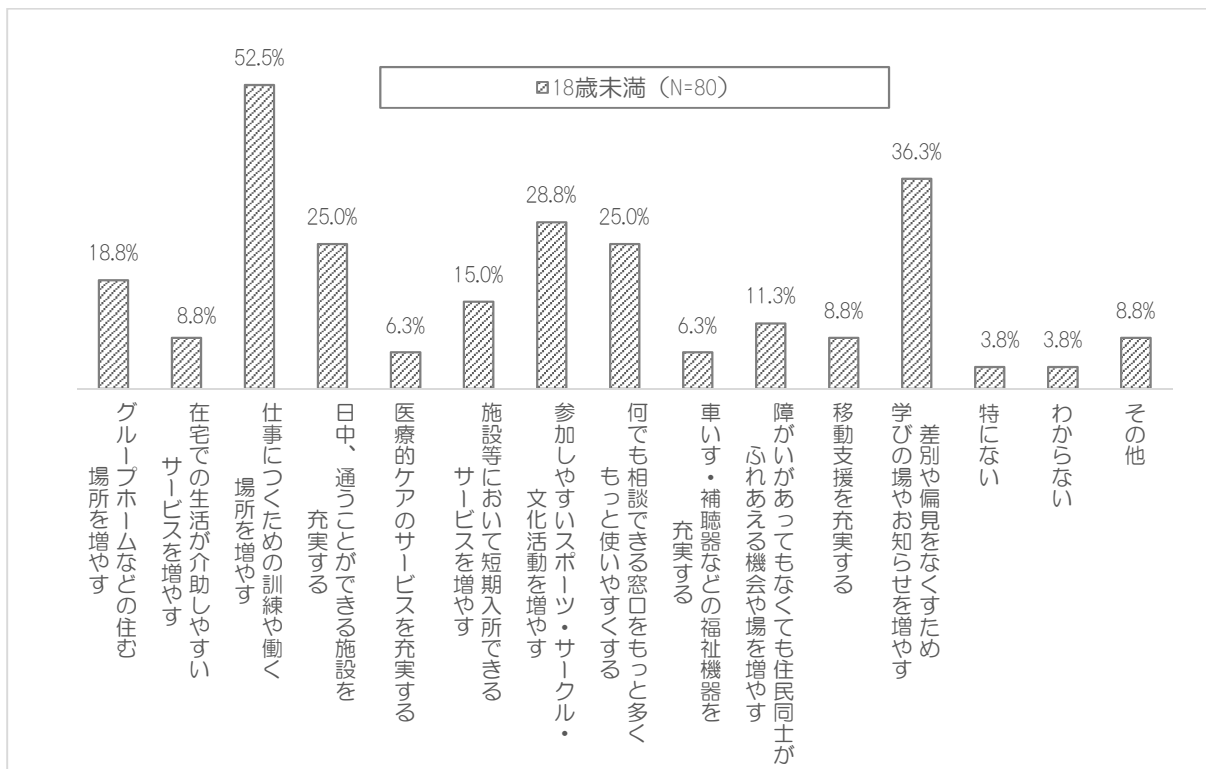


- 「お子さんの父母、祖父母、きょうだいなど」と回答した割合が高い。

【その他の主な回答】

学校(支援学級の担任、寄宿舎の支援員)

お子さんがよりよく暮らすためには、どのようなことが必要だと考えますか？
(3つまで回答)



○ 「仕事につくための訓練や働く場所を増やす」、「差別や偏見をなくすため学びの場やお知らせを増やす」と回答した割合が高くなっている。

【その他のご意見】

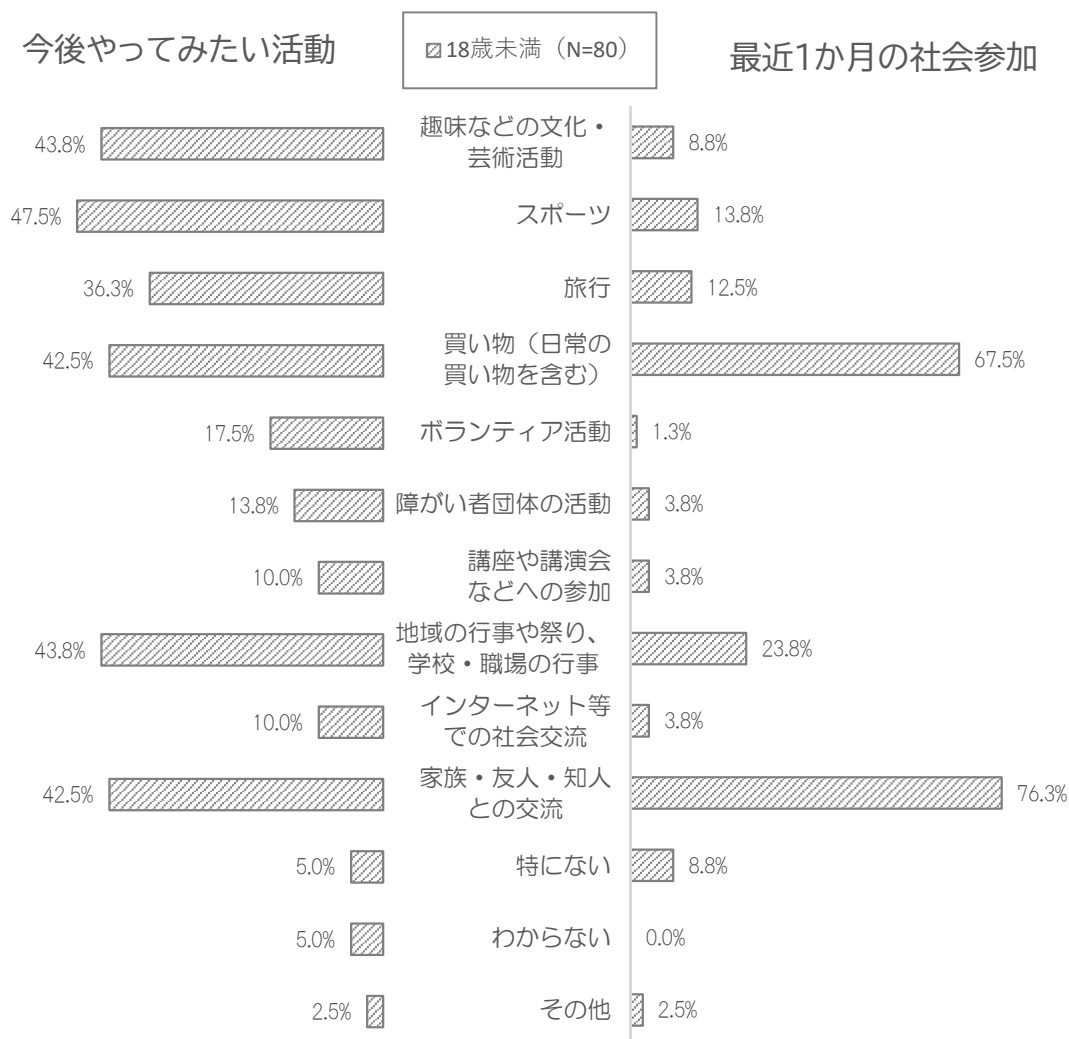
- 石狩市内での生活を望んでいるが、重度障がい者を受け入れるグループホームやショートステイがほぼ無い状態なので、学校卒業後の生活に不安がある
- 障害福祉サービスが緊急時に利用しにくいので改善してほしい
- 石狩市民が利用できる福祉サービスや事業所についての情報を積極的に発信してほしい
- 学校等への送迎の支援があれば、本人や家族の負担が軽くなると思う

手帳別(複数回答) ※12項目のみ掲載	身体	療育	精神
グループホームなどの住む場所を増やす	7%	8%	0%
在宅での生活が介助しやすいサービスを増やす	4%	4%	0%
仕事につくための訓練や働く場所を増やす	13%	20%	33%
日中、通うことができる施設を充実する	12%	10%	33%
医療的ケアのサービスを充実する	3%	3%	0%
施設等において短期入所できるサービスを増やす	10%	7%	0%
参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動を増やす	7%	11%	33%
何でも相談できる窓口をもっと多く、もっと使いやすくする	4%	11%	0%
車いす・補聴器などの福祉機器を充実する	7%	0%	0%
障がいがあってもなくても、住民同士がふれあえる機会や場を増やす	6%	4%	0%
移動支援を充実する	6%	2%	0%
差別や偏見をなくすため、学びの場やお知らせを増やす	10%	14%	0%

- 身体障害者手帳所持者では、「仕事につくための訓練や働く場所を増やす」「日中、通うことができる施設を充実する」の順に回答した割合が高くなっている。
- 療育手帳所持者では、「仕事につくための訓練や働く場所を増やす」「差別や偏見をなくすため、学びの場やお知らせを増やす」の順に回答した割合が高くなっている。

(3) 社会参加について

お子さんが最近1ヶ月間に行った社会参加は何ですか？また、今後やってみたい活動は何ですか？(複数回答)

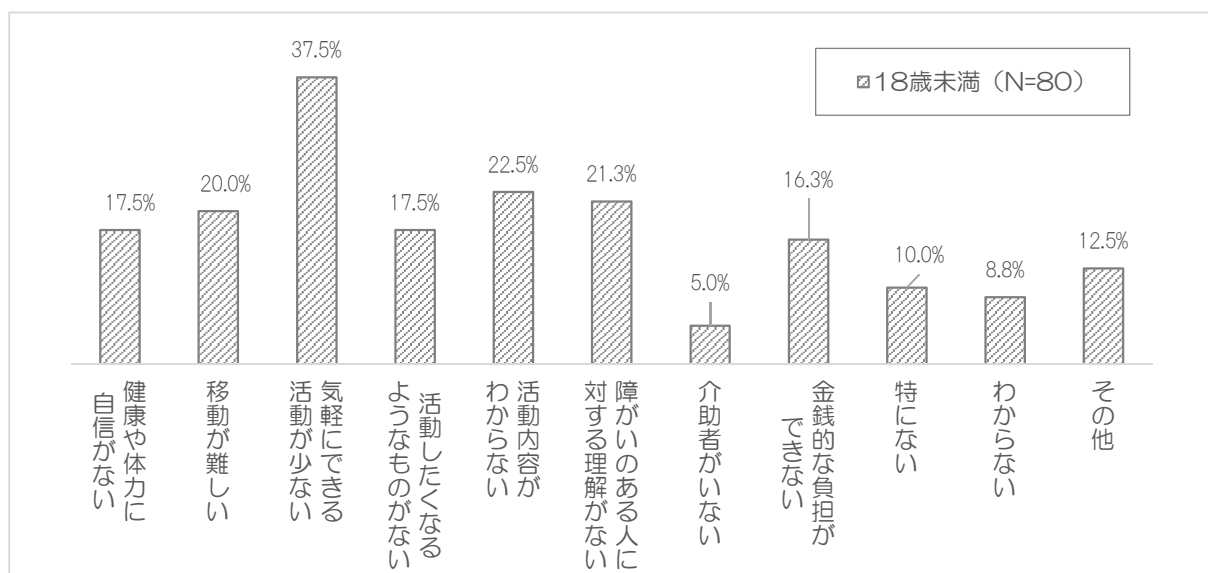


- 最近1か月の社会参加では、「家族・友人・知人との交流」「買い物」の順で回答した割合が高くなっている。
- 今後やってみたい活動では、「スポーツ」「趣味などの文化芸術活動」「地域の行事や祭り、学校・職場の行事」「買い物」「家族・友人・知人との交流」の順で回答した割合が高くなっている。

今後やってみたい活動 手帳別(複数回答) ※10項目のみ掲載	身体	療育	精神
趣味などの文化・芸術活動	11%	14%	20%
スポーツ	12%	15%	20%
旅行	16%	9%	0%
買い物(日常の買い物を含む)	13%	13%	0%
ボランティア活動	6%	5%	20%
障がい者団体の活動	5%	4%	20%
講座や講演会などへの参加	4%	3%	0%
地域の行事や祭り、学校・職場の行事	12%	14%	20%
インターネット等での社会交流	1%	3%	0%
家族・友人・知人との交流	15%	13%	0%

- 身体障害者手帳所持者では、「旅行」「家族・友人・知人との交流」の順に回答した割合が高くなっている。
- 療育手帳所持者では、「スポーツ」「趣味などの文化・芸術活動」「地域の行事や祭り、学校・職場の行」の順に回答した割合が高くなっている。

お子さんが活動を行う上での問題点はありますか？(3つまで選択)



- 「気軽にできる活動が少ない」、「活動したくなるようなものがない」、「活動内容がわからない」といった、活動そのものに対する回答と「障がいのある人に対する理解がない」と回答した人の割合が高い。

【その他の主な回答】

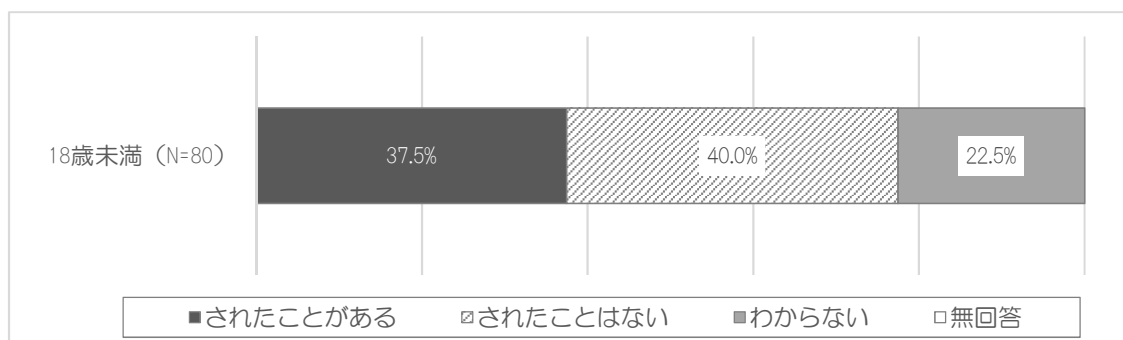
- 本人が参加したがない
- 同じ障がいを持つ人たちとの交流の場が少ない
- 野外イベントはもっと車いすの走行がしやすい道にしてもらえると参加しやすい
- インターネットでの社会交流をさせてみたいが、使い方の理解や安全性に不安がある

活動を行う上での問題点 手帳別(複数回答) ※8項目のみ掲載	身体	療育	精神
健康や体力に自信がない	12%	8%	0%
移動が難しい	17%	11%	0%
気軽にできる活動が少ない	12%	23%	0%
活動したくなるようなものがない	10%	9%	0%
活動内容がわからない	7%	13%	0%
障がいのある人に対する理解がない	2%	14%	50%
介助者がいない	2%	3%	0%
金銭的な負担ができない	5%	9%	50%

- 身体障害者手帳所持者では、「移動が難しい」と回答した割合が1番高くなっている。
- 療育手帳所持者では、「気軽にできる活動が少ない」と回答した割合が1番高くなっている。

(4) 理解の促進、差別の解消について

お子さんは日常生活において、障がいがあるために差別や偏見を受けたり、嫌がらせをされたり、仲間はずれにされたことがありますか？



手帳別(複数回答)	身体	療育	精神
されたことがある	32%	40%	100%
されたことはない	52%	35%	0%
わからない	16%	24%	0%

- 身体障害者手帳所持者では、されたことがある割合は約3割となっている。
- 療育手帳では、されたことがある割合は約4割となっている。

「されたことがある」と回答した方に伺います。
 どこで、誰から、何をされましたか？

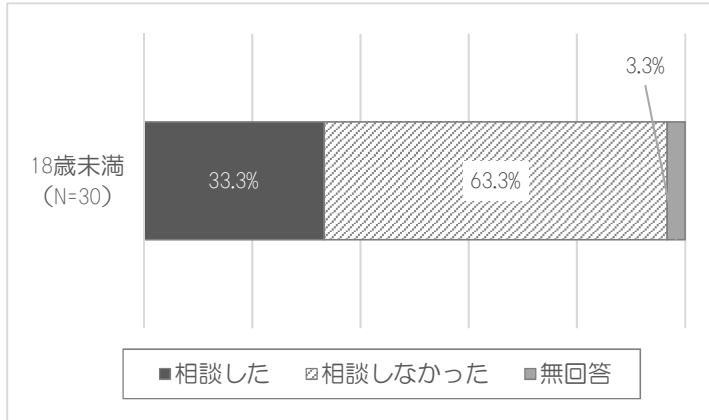
【上位の回答】

		18歳未満	
どこで	1位	保育所・幼稚園・学校	70.0%
	2位	公共施設	33.3%
	3位	お店	23.3%
誰から	1位	友人・知人	60.0%
	2位	知らない人	30.0%
	3位	客・利用者	20.0%
何を	1位	嫌なことを言われた	83.3%
	2位	嫌な態度をとられた	60.0%
	3位	嫌な目で見られた	40.0%

【その他の回答】

誰から
● 医師、病院の職員
● 上級生・下級生

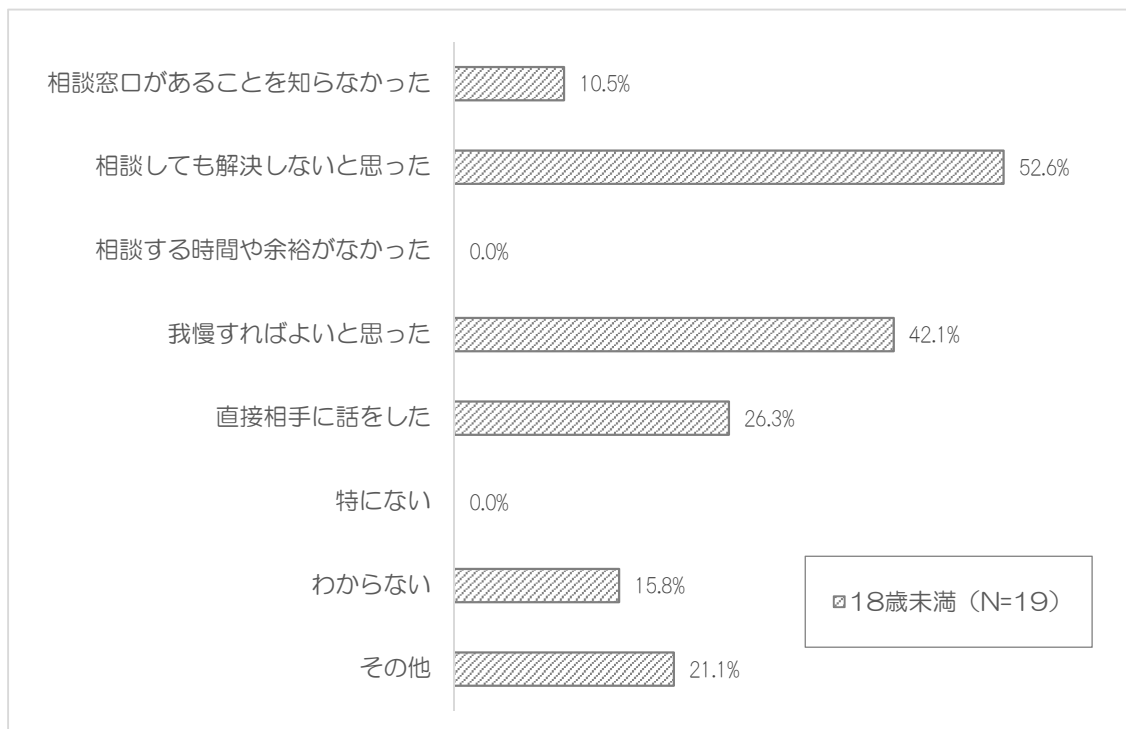
差別や偏見、嫌がらせや仲間外れなどをされた時、お子さんについてどこかに相談しましたか？



【主な相談先】

- 学校(担任、教育委員会)
- 相談支援事業所
- 両親

【相談しなかった理由】



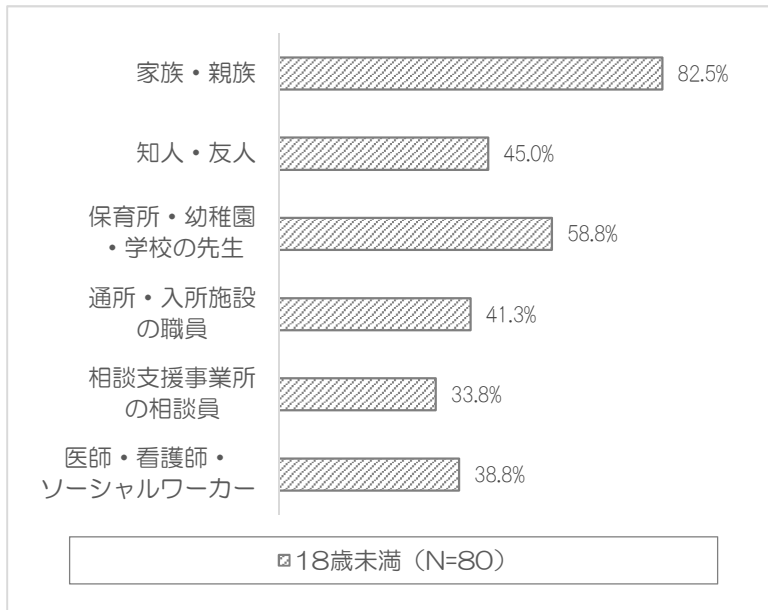
【その他の主な理由】

- これからもっと、こんな事が起きると思う。それを乗り越えて生きていかななくてはならないことを伝えた

(5) 相談・情報の入手について

あなたがお子さんについて相談する人は、どなたですか？(複数回答)

※上位のみ掲載

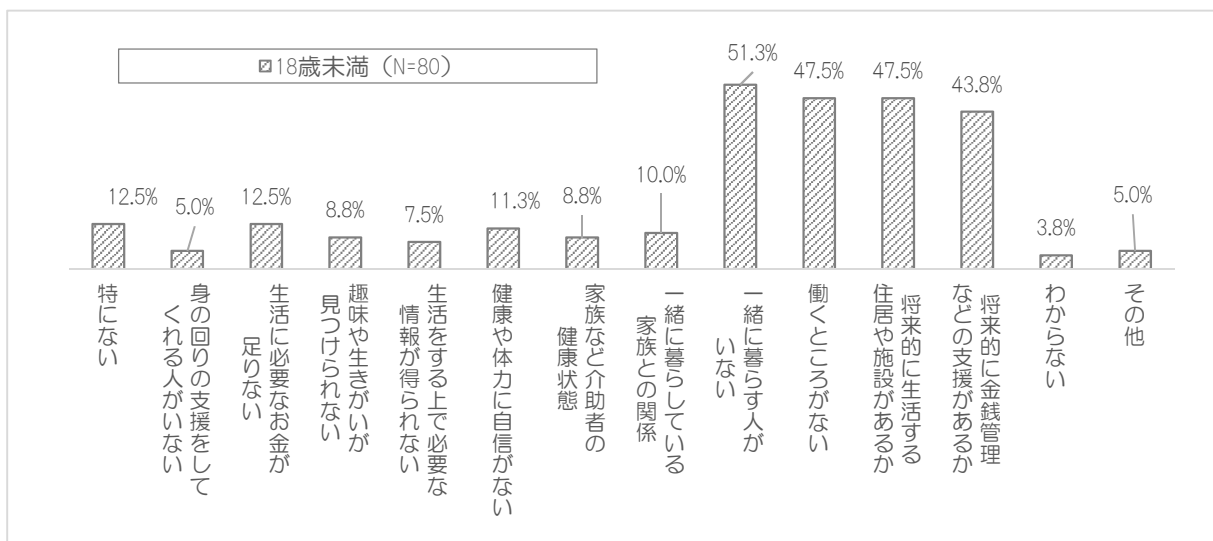


○ 「家族・親族」や「知人・友人」に相談する割合が高い。

【その他の回答】

- 同じ障がいを持つ子の保護者

お子さんが現在の生活で困っていることや不安に思っていることはありますか？(複数回答)



【その他の主な回答】

- 子どもがゲーム依存になっていること
- 先生(支援級)が障がいの特性を理解できていない

手帳別(複数回答) ※12項目のみ掲載	身体	療育	精神
特に困っていることはない	3%	4%	0%
身の回りの支援をしてくれる人がいない	2%	2%	0%
生活に必要なお金が足りない	2%	5%	50%
趣味や生きがいが見つけられない	5%	3%	0%
生活をする上で必要な情報が得られない	2%	3%	0%
健康や体力に自信がない	3%	4%	0%
家族など介助者の健康状態	3%	3%	0%
一緒に暮らしている家族との関係	0%	4%	0%
一緒に暮らす人がいない	22%	15%	0%
働くところがない	18%	18%	0%
将来的に生活する住居や施設があるかどうか不安	15%	19%	50%
将来的に金銭管理や契約などのサポートをしてくれる人がいるかどうか不安	20%	17%	0%

- 身体障害者手帳所持者では、「一緒に暮らす人がいない」「将来的に金銭管理や契約などのサポートをしてくれる人がいるかどうか不安」の順に回答した割合が高くなっている。
- 療育手帳所持者では、「将来的に生活する住居や施設があるかどうか不安」「将来的に生活する住居や施設があるかどうか不安」「働くところがない」の順に回答した割合が高くなっている。

お子さんが情報を入手したり、コミュニケーションをする上で配慮してほしいことはありますか？(3つまで選択可)

項目	18歳未満
さまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい	5.0%
パンフレットやホームページなど、文字の大きさや色の使い方に配慮してほしい	3.8%
問合せ先は電話番号だけでなく、ファックスやメールアドレスも載せてほしい	13.8%

手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい	3.8%
わかりやすい文言・ルビ・表現・絵文字を使用してほしい	31.3%
動画などを使ってわかりやすい資料を作成してほしい	36.3%
情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい	40.0%
特にない	18.8%
わからない	12.5%
その他	2.5%

- 「動画などを使ってわかりやすい資料を作成してほしい」や「情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい」との回答の割合が多かった。

手帳別(複数回答) ※7項目のみ掲載	身体	療育	精神
さまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい	9%	2%	0%
パンフレットやホームページなど、文字の大きさや色の使い方に配慮してほしい	0%	3%	0%
問合せ先は電話番号だけではなく、ファックスやメールアドレスも載せてほしい	6%	8%	50%
手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい	6%	1%	0%
わかりやすい文言・ルビ・表現・絵文字を使用してほしい	16%	21%	50%
動画などを使ってわかりやすい資料を作成してほしい	16%	23%	0%
情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい	16%	27%	0%

- 身体障害者手帳所持者では、「わかりやすい文言・ルビ・表現・絵文字を使用してほしい」「動画などを使ってわかりやすい資料を作成してほしい」「情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい」と回答した割合が高くなっている。
- 療育手帳所持者では、「情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい」「動画などを使ってわかりやすい資料を作成してほしい」「わかりやすい文言・ルビ・表現・絵文字を使用してほしい」の順に回答した割合が高くなっている。

(6) 障がい者施策全般について

石狩市の障がい者施策全般についてのご意見・ご要望

- 将来、親と離れて暮らすことになると思うので、重度障がいに対応できるグループホームを開設してほしいと思います
- 子どもが小さい頃にどうやって情報を集めれば良いか分からなかった
- (ひとり親で子どもが二人いる場合)一人が障がいを持っていて、もう一人が健常者の場合でも、二人一緒に預けられるような施設を作ってほしい。
- 高校卒業後に就労継続支援 A 型事業所に行くことを目指していますが、事業所に行くまでの交通費を助成してほしい
- 特別支援学級に通っている子どもを受け入れてくれる習い事(水泳、体操、空手、音楽など)を増やしてほしい
- 障がいに合わせたスポーツ教室・文化活動の場が欲しいです
- 子ども発達支援センターに通っていて、気軽に相談できたことで、親一人で抱えこまずにいれましたが、小学生になると相談先や子どもを理解してくれる人がいなくなったことが一番不安です
- 放課後等デイサービスは満員が多く、入りたいところに入れませんでした
- 市役所からの書面の内容について理解するには難しい文面が多いので、わかりやすい説明があると助かります。また、毎回(月)の手続きが必要なものについては、変更がない部分については記入を省略していただけるとありがたいです
- 福祉利用割引券の金額をもう少し上げていただきたいのと、札幌市のように福祉乗車証を交付してほしい
- 市役所の窓口で待たされる時間が長い
- 学習に問題はないが、コミュニケーション等に問題がある子どもの進路(特に中学校)の選択肢が少ないと思います。コミュニケーションの問題から中学校の普通級での入学が難しい場合の対策をしてほしいです。また、学校の先生や、事業所の支援員向けの学習会を積極的に行って、障がいに対する理解や知識を深める活動をしてほしい
- 小・中学校の特別支援学級の先生が発達障がいに理解のない方が多いので、研修を行なうなど対策をしてほしい。教育委員会に相談をしたが、何も改善されなか

った。義務教育の間は子どもが大きく成長するチャンスなので、子どもの人生と一緒に考えてもらいたかった

- 大人になって困ったときにどう対処すればいいのか、親以外で相談できる人がいるといいなと思います
- 通所・入所施設、移動支援などサービスを受けようとしても、石狩市内だけでは定員の関係で受けられなかったのが、札幌市の近くの区で探そうと思い相談支援事業所に相談したが、札幌市の情報に詳しくなく残念な結果になった。障がい者への対応はよくしてもらっているが相談支援事業所には困ったときに頼れる存在であってほしい。福祉に関わる人たちは貴重な人材なので、事業所が安定して運営できるようバックアップがあればいいと思います
- 補聴器は交換時お金の支給があるのに、人工内耳は初回のみ保険がききますが、買い替えは自費です。1個100万近くするので、負担は大きいです。今は親がお金を払えますが、親がいなくなった後、不安です。他の自治体では一部助成されているところもあるので、一部助成してもらえるとありがたいです
- 相談を気軽にできる窓口をつくって欲しいです